

# 人権と希望

2017/6月

平成 29 年 9 月 9 日 (土) 午後 1 時 ~ 4 時 開催

## 第 24 回 子どもたちからの人権メッセージ発表会のお知らせ

多摩東地区 13 市の代表児童による人権メッセージ発表会が今年も開催されます。メッセージを書くことや発表することを通して、子どもたちが人権を考えるきっかけになることを願って毎年行われています。今年市立第一小学校の 6 年生の代表児童が発表します。皆様ぜひご来場ください。

場所：武蔵野公会堂ホール（武蔵野市）

[田中]

## 第 23 回 子どもたちからの人権メッセージ発表会開催報告



平成 28 年 9 月 10 日 (土) 清瀬市清瀬けやきホールで、各市から選ばれた小学 4 年生から 6 年生の児童 30 名による発表会が行われました。

人権メッセージのテーマは、家族のことや友達のことなど様々ですが、どれも優しい思いやりにあふれたものでした。国分寺市からは第十小学校の横林なな子さんが「後悔のないように」行動に移す勇気を持つとうというメッセージをしっかりとした言葉で発表してくれました。

[田中]



## 平成 28 年度多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会事業 「講演と映画の集い」開催報告



平成 29 年 2 月 4 日 (土) いずみホールで、「男女共同参画社会」をテーマとした「講演と映画の集い」を開催しました。

最初は平成 28 年度の中学生の人権作文の中から男女共同参画をテーマとした 2 作品を作者本人に朗読してもらいました。続いて、自らも民間宇宙飛行士として活動をしている山崎大地さんを講師としてお招きして「家族で叶えた宇宙への夢」と題して、日本初の「ママさん宇宙飛行士」誕生の裏側で遭遇した様々な苦難や苦労話を赤裸々に話していただきました。妻が宇宙飛行士として活躍する



山崎大地さん

傍ら、自らの仕事をあきらめて育児と両親の介護に専念した講師の苦労話には会場から共感の聲が上がりました。講演の後は、世界初の大西洋横断を成功させた女性飛行士を題材にした映画「アメリカ永遠の翼」を上映しました。

[伊達]

## 中学生 人権作文コンテスト



平成 28 年度の中学生人権作文は、東京都全体で 318 校の中学校が実施し、応募の総数は 46,263 編でした。作品の内容は児童生徒に関するテーマで、とくにいじめのテーマが 32%、障害に関するテーマが 14%、戦争や平和に関するテーマが 13%となっており、応募の半数以上を占めていました。

国分寺市の中学生人権作文は、第一中学校から第五中学校までの 5 校全校が実施し、応募総数は 775 編でした。内容は概ね東京都と同様でした。国分寺地区の人権擁護委員で、応募作文の中から 5 編の「市長賞」と 15 編の「人権作文賞」を選びました。その内、1 編が「東京都大会優秀賞」、2 編が「東京都大会作文委員会賞」、4 編が「多摩東人権擁護委員協議会長賞」を受賞しました。市内各中学校で作文の指導をされている先生をはじめ学校関係者、保護者等に感謝を申し上げます。これからも「人権」についての啓発等に努力していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

[熊谷]

平成 28 年度国分寺市長賞の受賞者の方々です。

第三中学校 2 年	木山 悟	『傷』
第四中学校 2 年	小山 のどか	『虹のように』
第四中学校 2 年	長尾 涼花	『誰にだってあること』
第四中学校 3 年	石丸 晴子	『「命」から知る幸せ』
第五中学校 2 年	黒岩 絢子	『女性の人権について』
(学校・学年別)	五十音順)	



## 第 16 回 人権のつどい開催報告

「LGBTってなあに? ~だれもが生きやすい社会をめざして~」



平成 28 年 12 月 4 日 (日) ひかりプラザで、人権のつどいを開催しました。初めに中学生人権作文市長賞受賞者の表彰式と朗読が行われました。

講演会は「LGBTってなあに?」というテーマで橋本恭子さん(日本社会事業大学非常勤講師・虹色とんちメンバー)にお話ししていただきました。「LGBT」は、レズビアン(女性同性愛)、ゲイ(男性同性愛)、バイセクシュアル(両性愛)、トランスジェンダー(心と体の性が一致しない)の頭文字を組み合わせた言葉です。

LGBTなどの性的少数者は 2~13%存在し、理解されない苦しみが続いています。多様な性の在り方を尊重し、誰もが生きやすい社会を目指しましょう。

[岩崎]



## 6月1日人権擁護委員の日「落語とDVDの上映」開催報告



平成 28 年 6 月 1 日（水）ひかりプラザで、国分寺市と同人権擁護委員の会主催による「人権擁護委員の日」啓発活動を行いました。当日は、午後 1 時から午後 4 時まで人権擁護委員による身近な人権相談を行うと同時に、落語とDVDの上映を行いました。

前半の落語会では、平成 29 年 4 月にご逝去された三遊亭圓歌師匠のお弟子さんである三遊亭小歌師匠をお招きし、圓歌師匠が得意とされていた演目を採り入れた軽妙洒脱な落語と落語の世界の裏話をお話ししていただきました。

後半は「身近な虐待 私たちにできること」をテーマに、虐待防止に関するドラマを上映しました。42 人の方が会に出席し多くの参加者からは好評のご感想をいただきました。

[伊達]



三遊亭小歌さん

## 「人権の花」運動 ～育てよう 思いやりの心～



平成 28 年度は、第九小学校の 3 年生と第十小学校の栽培委員会（5～6 年生）が人権の花を育ててくれました。プランターに土を入れて種をまき、いつ芽がでて花が咲くのか、友達と協力しながら水をやり、お世話をする作業は時間もかかる地道な作業ですが、花という一つの命に向き合うことで、子どもたちは沢山のことを感じとってくれています。“育てよう 思いやりの心”、「人権の花」運動に取り組む子どもたちの心に、思いやりあふれる人権の種がまかれ、やさしい花がたくさん咲くといいな、と願っています。平成 29 年度は、第一小学校と第二小学校のみなさんが取り組んでくれています。 [村原]



〈第九小学校〉



〈第十小学校〉

## 子どもの人権 110 番・SOSミニレター



【子どもの人権 110 番】

子どもや保護者等からの電話相談の対応を法務局職員と連携しながら取り組んでいます。月曜日から金曜日の平日、「子どもの人権 110 番」で相談を受けています。家族からの相談が 37%でその内約 8 割弱が母親からの相談です。 **子どもの人権 110 番 0120-007-110 (全国共通・無料)**

## 【子どもの人権SOSミニレター】

子ども自身からの手紙で教師や保護者にも相談できない子どもの悩みや悲しみ（いじめ・虐待等）の気持ちが届きます。SOSミニレターの返信作業は新しい試みとして10月～12月の3ヵ月間は毎日5人ずつの当番制にして取り組んでいます。

学校及び関係機関と連携を図りながら、子どもの気持ちを受け止め、子どもの気持ちに寄り添うように丁寧に対応し、返信しています。

全国の小学校・中学校の児童・生徒にSOSミニレター（便箋付封筒）が配布されています。

[岩崎]

## 人権Q&A



Q：SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に私の氏名・勤務先や、事実と反したりプライバシーを侵害したりする書き込みがなされています。どこに相談したらいいですか。

A：SNSの著しい拡大に伴いこのようなケースが増えています。放置しておくと被害が拡大しかねません。しかも、誰がやったかも分からない場合が多いようです。

法務局では基本的人権を侵害するこのような書き込み等に関しては、人権侵犯事件として受け止めています。そして、その解決のために書き込み等を経由しているプロバイダに対して是正措置の一環として削除請求を行っています。プロバイダはその請求に応じて削除することが一般的とされています。地元の人権擁護委員や法務局に相談・依頼して、この手続を行うように求めてください。ただし、海外のプロバイダは日本政府の影響がないので効力はないと言われています。

[小部]

## 身近な人権相談のご案内



あなたの人権が侵害されたとき、生活の悩みや不安を抱えているとき、お気軽にご相談ください。人権擁護委員が相談を受けています。

相談は無料、秘密は厳守します。

どなたでもご利用いただけます。

お気軽にお電話でご予約ください。



### 平成29年度の相談日

原則として毎月第2木曜日  
午後1時～4時（1回30分）

場 所：男女平等推進センター相談室  
（ひかりプラザ内）

予約電話：042-573-4378

受付時間：月～金 午前9時～午後5時  
（祝日・年末年始を除く）

7月	13日	12月	14日
8月	10日	1月	11日
9月	14日	2月	8日
10月	12日	3月	8日
11月	9日		



編集：国分寺地区人権擁護委員の会

【人権擁護委員：岩崎文子・熊谷淳・小部正治・伊達俊二・田中久美子・村原町子】

発行・問合せ：国分寺市 市民生活部 文化と人権課

〒185-0034 国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ内 電話：042-573-4378